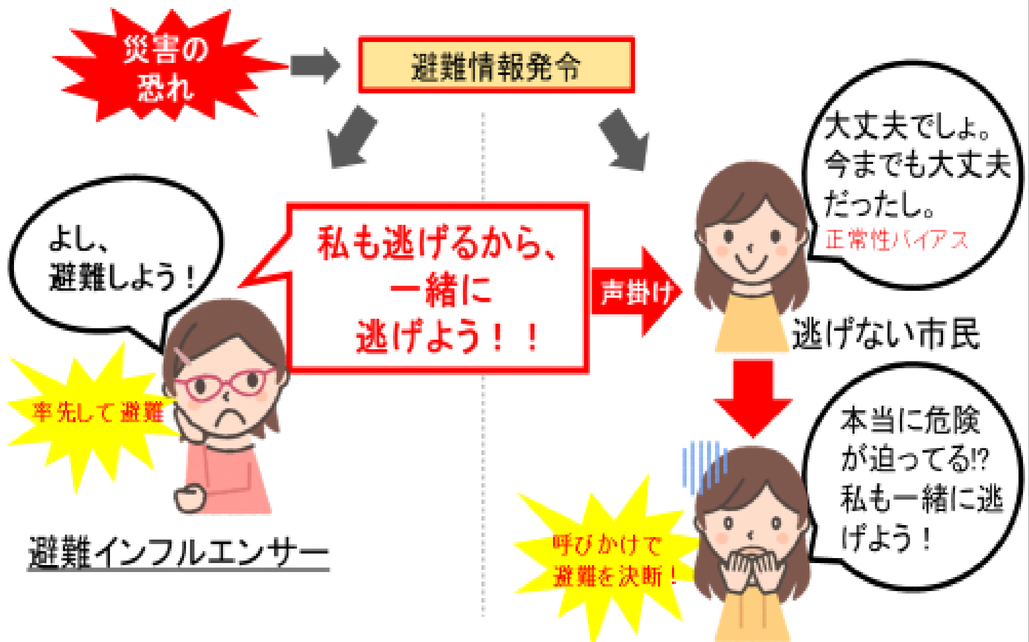
# 避難インフルエンサーの概要

災害が迫っていても「正常化の偏見」等によってなかなか避難を決断できない

→ 声かけによって避難を促す人＝「避難インフルエンサー」を選任

## 避難インフルエンサーとは




★信頼している人からの呼びかけで、切迫感を高める

★一緒に行動することで、避難行動のハードルを下げる

国土交通省「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト」(H30～)及び新潟県「防災・減災対策の新たなステージに向けた検討会議」(H31)で議論

### ①水害時、垂直避難が適切でない町内で選任

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 想定浸水深3m以上の区域

《55町内、4,991世帯が対象》

### ②避難情報で声かけ

- 自身が適切に、率先して避難
- 周りに声をかけ避難

### ③短時間で全世帯を回れるように人数を配置

- 住宅が密集している町部と離れている農村部とに分けて、かかる時間を想定
  →約15分（世帯数の10％程度の人数）

### ④地域で信頼を得ている人を選任

- 区長や自主防災組織会長に選出を依頼
  →市に登録してもらう
- 人数(目安) 478人→選任済み407人(85％)

### ⑤避難インフルエンサーの養成

- 自覚と防災意識の高さを維持するため、年に数回、啓発広報紙を避難インフルエンサーに配布

見附市企画調整課　危機管理室　0258-62-1700　内線312